お元気ですか！
志村 たかよし です

第８２２号　2017年1月15日

日本共産党中央区議団
中央区　築地　１－１－１
電　話　３５４６-５５６３
ＦＡＸ　３５４６-９５７０

今年の新成人は７７４人（1/1現在）

日本共産党区議団が新成人にエール

右は、当日配付されたのパンフレット。写真は、新成人へのお祝いの気持ちを歌った佃中学校生徒の合唱。

1月9日、箱崎のロイヤルパークホテルで「新成人のつどい」（実行委員会主催）が、「粋」をテーマに開催されました。

今年の新成人は、全国で約123万人、中央区では774人（1／1現在）でした。

若者が直面するきびしい現実

長時間労働と低賃金は、若者にとって極めて深刻です。

学生には学費負担が重くのしかかり、奨学金とアルバイトでやりくりしても手元に残る食費はわずかという調査もあります。

多くの若者が「働き続けられるか」「奨学金を返せるか」「老後の年金はもらえるか」と不安を感じているように、学費・奨学金、ブラック企業など若者が直面する課題は、社会全体の問題となっています。

左から小栗、奥村、私（志村）、細野、加藤＝1／9

希望ある社会を一緒に作ろう！

昨年、「18歳選挙権」がスタートし、若者の声を政治に届けるチャンスが広がりました。

日本共産党区議団は、つどいに参加する新成人へ心からのお祝いの言葉とともに、「全国で安倍政権と対決する野党と市民の共闘が広がっています。昨年7月の参院選、10月の新潟県知事選では、野党と市民が本気で力を合わせれば、勝利できる結果を示しました。この流れを強く大きくすれば、希望ある日本への道が展望できます」「党創立95周年を迎えた日本共産党は、市民と野党の共闘をさらにすすめ、若いみなさんと力を合わせ、希望ある社会をつくるために力を尽くします」と訴えました。

細野真理東京２区青年雇用対策室長もマイクを握りました。

沖縄でオスプレイが墜落し機体大破

心配していたオスプレイの事故が起きてしまいました。

昨年の12月13日午後9時30分ごろ、沖縄県宜野湾市の米海兵隊普天間基地所属の垂直離着陸機「MV22オスプレイ」1機が、名護市安部の沿岸から約80メートルの浅瀬に墜落し、機体が大破しました。

乗組員5人は全員が救助され、2人が負傷。米海軍病院に搬送されました。

14日、翁長雄志知事は、外務省沖縄事務所と沖縄防衛局の担当者を県庁に呼び、厳しく抗議するとともに、オスプレイの飛行中止と配備撤回を求めました。

墜落し大破したオスプレイの機体の一部を調べる米兵＝14日、沖縄県名護市（しんぶん「赤旗」より）

墜落は集落から数百メートル

この事故は、オスプレイが、米軍嘉手納基地の特殊作戦機MC130から空中給油を受ける訓練中に起きました。

墜落現場は、民家が並ぶ集落から数百メートルしか離れておらず、取り返しのつかない重大事故の可能性もあり、沖縄県内では各地で抗議行動が展開されました。

オスプレイは開発段階の1990年代から墜落など重大事故を続発させていましたが、国内での重大事故は2012年12月の配備以来、初めてです。

オスプレイは、東京の米空軍横田基地など本土でも訓練・配備計画があるため、沖縄県だけでなく日本全国で不安や配備撤回を求める声が高まっています。

「オスプレイの配備・訓練の反対を求める請願」に日本共産党以外の会派が反対

2014年7月8日の企画総務委員会で、区民などから提出された「米軍新型輸送機オスプレイの配備撤回と全国での低空飛行訓練中止を求める意見書の採択を求める請願」の採決が行われましたが、日本共産党以外の会派が反対したため、採択されませんでした。

米軍司令官は占領意識丸出し

許せないのは、在沖縄米軍トップのニコルソン第3海兵遠征軍司令官が、この墜落事故に関して、14日に行われた安慶田光男沖縄県副知事との会談で、墜落機が浅瀬に着水したことで「住宅上空を飛ばなかったことを感謝されるべきだ」「飛行士は英雄だ」と語ったことです。

まさに、米軍基地を押しつけている「占領意識」を丸出しにしたものではないでしょうか。

無責任な米軍に追従する政府

事故の6日後には訓練を再開し、1月6日には、オスプレイの空中給油訓練の再開が強行されました。

今回の空中給油訓練の再開は、給油ホースがオスプレイのプロペラに接触した原因を完全に特定するには至っていないにもかかわらず、事故から3週間あまりの短期間で決定されたものです。

政府は、米軍の特権を保障する日米地位協定の壁に阻まれて原因究明の「蚊帳の外」に置かれ、独自の情報を全く持っていません。

それなのに、米軍の説明を「理解」してきた政府は、まったく無責任です。

アメリカのやることは何でも賛成で、「日米同盟のため」と言われたら、思考停止になるのが、いまの日本の外交です。

この異常なアメリカへの「従属体制」を改めて、対等・平等・友好の日米関係に切り替える必要があると思います。

ご意見、ご要望など、お気軽にご連絡ください(35336−6309)に

ブログもごらんください　志村たかよしワールド　検索